



画像①

WEB 事前予約制



ひらめくアイデア、果てなき表現 — 天才、ピカソ。

佐川美術館では、夏季展覧会として「イスラエル博物館所蔵 ピカソ —ひらめきの原点—」を開催いたします。

この夏、世界一有名な画家と言っても過言ではないピカソの作品が佐川美術館にやってきます。イスラエル博物館(エルサレム)は、グラフィック作品を中心とする 800 点余りのピカソ・コレクションを有しており、今回版画を中心に、油彩画、ドローイングといった選りすぐりのピカソ作品が初来日します。

本展では、ピカソが作家活動を始めた 1900 年頃の初期作品から、亡くなる 3 年前の 1970 年までの作品を年代順に紹介。代表的な版画作品に、ピカソ初期の傑作《貧しい食事》(1904 年)をはじめ、〈ヴォアラール連作〉(1930-37 年)、当時スペインを独裁していたフランコ政権を批判した政治的作品《フランコの夢と嘘》(1937 年)、87 歳で制作した〈347 シリーズ〉(1968 年)があり、ピカソの版画への造詣や探求心とともに、版画における多様な表現をご覧ください。目まぐるしい作風の変遷と、社会や日常を着想の源とする主題やモチーフの数々をたどり、長きにわたるピカソの創作の軌跡に迫ります。

展覧会実施概要

- ◆名 称 : 「イスラエル博物館所蔵 ピカソ —ひらめきの原点—」
- ◆会 期 : 2022 年 7 月 2 日 [土] ~ 9 月 4 日 [日]
- ◆開 館 時 間 : 午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)
- ◆休 館 日 : 月曜日 (7/18 は開館)、7/19
- ◆入 館 料 : 一般 ¥1,300 / 高大生 ¥900 /
中学生以下無料 *ただし保護者の同伴が必要
※ 専門学校・専修学校は大学に準じる
※ 障害者手帳をお持ちの方(手帳をご提示ください)、付添者(1 名のみ)無料

[主 催] 佐川美術館(公益財団法人 SGH 文化スポーツ振興財団)、イスラエル博物館(エルサレム)、NHK 大阪放送局、NHK エンタープライズ近畿
[後 援] イスラエル大使館、滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会
[協 賛] DNP 大日本印刷
[制作協力] NHK プロモーション
[協 力] SG ホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

次ページの
WEB 予約に関する案内を
必ずお読みいただき、
記事内に明記ください。

イスラエル博物館所蔵 ピカソ —ひらめきの原点—

入館の予約について

混雑緩和のため、本展は **WEB での事前予約**が必要です。
 ※ご予約時にネット決済による入館チケット購入が必要

記事内には、以下の**2点**を明記ください。

◆WEB 事前予約制

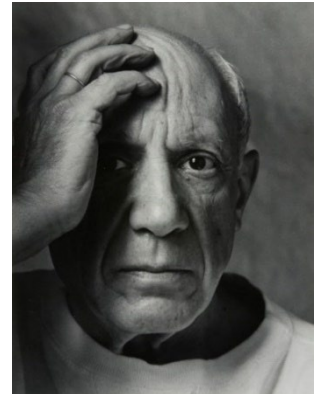
◆予約情報の詳細は HP をご確認ください。

新型コロナウイルス感染状況に応じて、実施概要が変更になる場合がございます。
 最新の情報については、必ず佐川美術館ホームページをご確認ください。

作家略年譜

パブロ・ピカソ (1881-1973)

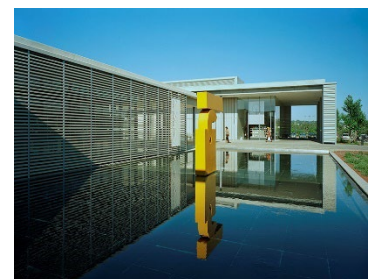
1881 年	スペイン南西部の港町・マラガで生まれる。
1891-1895 年	一家が移り住んだラ・コルーニャで、美術学校に通う。
1895 年	一家でバルセロナに移る。父親が教鞭をとる美術学校に入学。
1899-1900 年	前衛芸術とカタルーニャの民衆芸術を支援するカフェ「四匹の猫」に通いつめるようになり、個展を開催。初めてパリに旅する。
1901 年	再びパリに赴き、アンブロワーズ・ヴォーラルの画廊で展覧会を開く。親友の画家カサハマスが自殺し、ピカソの青の時代が始まる。
1905 年	バラ色の時代が始まる。
1908 年	ブラックとピカソが分析的キュビズムの実験を開始し、最初のキュビズム展を開催。
1913 年	作品にコラージュを用いるようになり、総合的キュビズムを展開。
1917-1921 年	バレリーナのオルガ・コクローヴァと出会い、1918 年に結婚。1921 年、息子パウロが生まれる。
1927 年	17 歳のマリー＝テレーズ・ヴァルターと出会い、関係をもつようになる。
1930-1931 年	〈ヴォーラル連作〉の最初の版画を制作。オウィディウス『変身譚』とバルザックの『知られざる傑作』の挿絵制作をきっかけに、版画制作にのめりこむ。
1935 年	オルガが息子のパウロを連れて出て行く。マリー＝テレーズ・ヴァルターとの娘マヤ誕生。
1936 年	カンヌ近郊のムージャンに移り、新しい恋人の写真家ドラ・マールと暮らす。スペイン内戦が勃発。
1937 年	パリ万博のスペイン共和国館に展示する作品の依頼を受けて、『ゲルニカ』を制作。
1943-1949 年	フランソワーズ・ジローと出会う。3 年後コート・ダジュールに移り住む。1947 年に息子クロード、1949 年に娘のパロマ誕生。
1954-61 年	最後のパートナー、ジャクリーヌ・ロックと出会う。1961 年に結婚、ムージャンに移る。
1968 年	7 か月という短い期間で、〈347 シリーズ〉の作品を制作。
1973 年	ムージャンで死去。享年 91 歳。



画像②

イスラエル博物館(エルサレム)について

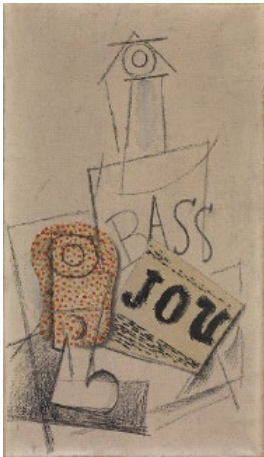
1965 年に設立されたイスラエル博物館は、イスラエルの最も重要な文化施設で、世界有数の博物館の一つです。段丘のように広がる約 6 万㎡の敷地と建物には、ユダヤの美術・生活および聖地の考古学にまつわる包括的コレクションと、幅広い分野にまたがる充実した美術のコレクションが収蔵・展示されています。また、世界最古の聖書写本「死海文書」を収める「聖書館」の他、イサム・ノグチがデザインしたビリー・ローズ・アート・ガーデンが敷地内に点在します。過去 50 年あまりの間に、世界中の支援者から比類なき寄付と支援を受け、同館のコレクションは、およそ 50 万点に及びます。



The Israel Museum, Jerusalem, Entrance
 © Timothy Hursley, The Israel Museum, Jerusalem

展示構成

【 あらゆる作風で表現し続けたピカソの作品を年代順に紹介します 】



画像③

■ I. 1900-1906 The Early Years 初期－青の時代とバラ色の時代

作家としての初期、ピカソがスペインからパリへ移り住んだ頃の作品を紹介。

■ II. 1910-1920 Cubism 分析的キュビズム、総合的キュビズム

ピカソとジョルジュ・ブラックが展開した、あらゆる対象を幾何学的図形に還元して描く革新的な絵画の表現・キュビズム作品を紹介。

■ III. 1920-1937 Neoclassicism and Surrealism

新古典主義、シュルレアリスム、〈ヴォラール連作〉

ピカソ版画作品の代表作〈ヴォラール連作〉を中心に紹介。

■ IV. 1937-1953 The War Years, Dora Maar, Francoise Gilot 戦時期－ドラ・マール、フランソワーズ・ジロー

ピカソに大きな影響を与えたスペイン内戦時(1936-39年)の作品に加え、当時の恋人ドラ・マールやフランソワーズ・ジローを描いた作品を紹介。

■ V. 1952-1970 The Later Years 晩年－ジャクリーヌ・

ロック、闘牛、バッカナリア、画家とモデル、〈347シリーズ〉

闘牛や、画家とモデルといった、ピカソのお気に入りのモチーフを描いた作品をはじめ、晩年の創作活動の多作ぶりを紹介。



画像④

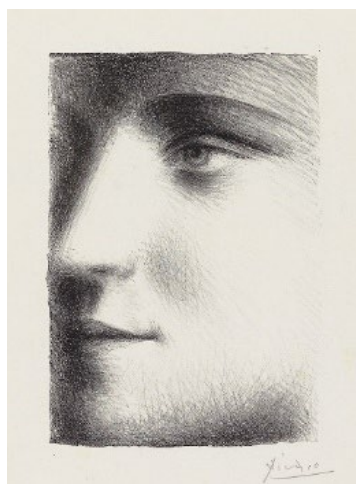
みどころ

■ イスラエル博物館(エルサレム)より、版画を中心とする選りすぐりのピカソ作品が初来日

エルサレムにあるイスラエル博物館は、グラフィック作品を中心とする 800 点あまりのピカソ・コレクションを所蔵しています。同館のピカソ・コレクションがまとまって紹介されるのは、日本初のことです。

■ 初期から晩年までの作品を通して、ピカソの長く、豊饒な創作の軌跡を知る貴重な機会

ピカソの作品は、彼と関係の深い人物にインスピレーションを受け制作されたものが多数を占めます。とりわけ、作品モデルを務めた恋人たちとピカソの関係は、彼の想像力をかき立て、作風の変化をもたらしています。ピカソの初期から晩年までの作品を年代順に紹介することで、彼の創作過程を一望できる貴重な機会となります。



画像⑤



画像⑥

■ 様々な版画技法を追求するピカソの果てしなき探求心に迫る



画像⑦

本展では、ピカソの創作活動を語る上で重要な4つの版画シリーズを紹介します。完全版となる〈サルタンバンク・シリーズ〉(1904-05年)に、〈ヴォラール連作〉(1930-37年)、そしてピカソの代表作ゲルニカを予告させる作品《フランコの夢と嘘》(1937)、87歳で制作したエロティックな〈347シリーズ〉(1968年)まで、ピカソの版画への造詣や探求心とともに、版画における多様な表現をご覧ください。



画像⑧

画像キャプション

- ①《座る女》1949年 油彩/カンヴァス 100×81cm Gift of Alex Maguy, Paris
- ②アーノルド・ニューマン(米、1918-2006年)《パブロ・ピカソ》1954年 ゼラチン・シルヴァー・プリント 41.8×32cm
Bequest of Arnold Newman, New York
- ③《コップ、バスの瓶、新聞》1914年 油彩、クレヨン/カンヴァス 47×26.7cm The Arthur and Madeleine Chalette
Lejwa Collection, bequeathed by Madeleine Chalette Lejwa, New York, to American Friends of the Israel
Museum
- ④《槍》1959年 カラー・リノカット 53.3×64cm Gift of Georges Bloch, Zurich
- ⑤《顔(マリー=テレーズ)》1928年 リトグラフ 20.6×14.2cm Gift of Georges Bloch, Zurich
- ⑥《大きな頭部》1962年 カラー・リノカット 64.2×52.8cm Gift of Georges Bloch, Zurich
- ⑦《貧しい食事》〈サルタンバンク・シリーズ〉より 1904年 エッチング 46.2×38.6cm Gift of Max Palevsky,
Los Angeles, to American Friends of the Israel Museum
- ⑧《夜、少女に導かれる盲目のミノタウロス》〈ヴォラール連作〉より 1934年 エッチング、ドライポイント、スクレイパーをかけたアク
アチント 24.7×34.7cm Gift of Isidore M. Cohen, New York, to American Friends of the Israel Museum

[①③④⑤⑦⑧]Photo © The Israel Museum, Jerusalem, by Elie Posner

[⑥]Photo © The Israel Museum, Jerusalem by Avshalom Avital

※②を除く作品すべて 作者パブロ・ピカソ ※すべての作品は イスラエル博物館(エルサレム)蔵

©2022 - Succession Pablo Picasso -BCF(JAPAN)

◆佐川美術館アクセス：

お車ご利用の場合

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神高速瀬田西 IC から湖周道路経由 (約 30 分)
- 名神高速栗東 IC から守山栗東線経由 (約 30 分)
- 名神京都東 IC から湖西道路 (真野 IC)・琵琶湖大橋経由 (約 30 分)

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線守山駅から路線バス「佐川美術館」下車 (約 35 分)
- JR 湖西線堅田駅から路線バス「佐川美術館」下車 (約 15 分)



● 広報用画像について

パブロ・ピカソの作品画像(肖像写真含む)の掲載につきましては、**著作権使用許諾の申請および著作権使用料が必要**です。(権料の目安:最低 3,500 円～画像サイズや発行部数、白黒/カラーによって異なる)

ただし、以下の条件に限り、パブロ・ピカソの権利者から著作権料の免除が認められる可能性があります。

著作権料の免除が適用される対象媒体

■新聞、雑誌、フリーペーパー等の印刷物(WEB版含む)

複製使用基本条件

1. カラー印刷 または 白黒印刷 (作品の複製は白地の上にされること)。
2. トリミング、文字のせ無し。原作品に忠実に複製すること。
3. WEB 版 については、「画像の抽出」「画像のダウンロード」が行われないようにすること。

免除適用の為の条件

- ・画像の複製寸法:面積 49.5 cm²以下であること。(参考: 9×5.5cmの名刺大サイズ以下)
- ・展覧会情報(会場、会期等)の部分を除き、解説文が 400 字以内であること。
- ・画像の使用点数:1 媒体に対して 2 点(各 1 複製)まで。
- ・表紙、裏表紙ではなく、本文中への複製使用に限る。

- 事前に株式会社フランス著作権事務所(以下 BCF)まで、申請書・レイアウトの提出が必要です。
- 全ての申請について、BCF を通しパリのパブロ・ピカソ権利者団体への申請が必要**になります。
- 許諾が交付された場合には、指定のクレジットをご明示頂くことになります。

*** ピカソ作品画像広報用画像ご希望の方** 許諾にお時間がかかることを予めご了承ください

- ①プレスリリース中よりご希望の画像をお選びください。画像使用申込書(7 ページ)にご記入いただき、当館までファックスまたは展覧会担当者宛(6 ページ記載)にメールでお申送ください。画像と必要情報をお送りします。
- ②下記 URL にアクセスいただき、リンク先の BCF 申請書にご記入の上、BCF までメール添付によりお申送ください。原稿レイアウトも一緒にお送りをお願いします。作品詳細をご記入の際は、画像キャプション(4 ページ記載)を参考ください。
<http://jaspar.or.jp/bcf>
- ③校正のため、原稿レイアウトを佐川美術館展覧会担当者宛てにもお送りください。
- ④BCF より許諾の連絡&美術館からの校正確認の連絡をもって、掲載・発行ください。
- ⑤掲載・発行後は、必ず BCF と展覧会担当者まで、掲載紙 1 部もしくは URL をそれぞれにお送りください。

【ピカソ著作権料についての問い合わせ先】

株式会社フランス著作権事務所(BCF)
 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-4 ササキビル 903 号室
 【TEL】 03-3815-8558 【FAX】 03-5840-8872
 【Email】 mn.picasso@bcf-tokyo.com

パブロ・ピカソ著作権業務時間：
 平日月曜日・水曜日・金曜日 10 時～18 時

テレワーク中につき
 メールでのご連絡をお願いします

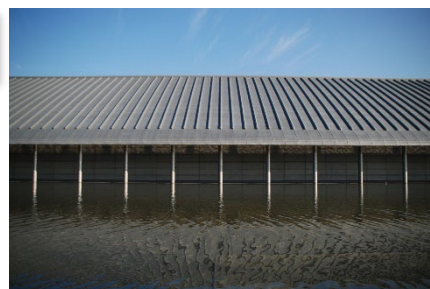
* 無料広報用画像ご希望の方 お時間に余裕のない場合はこちらを推奨します

当館の外観画像を貸出しますので、下記よりお選びいただき、画像使用申込書(7 ページ)にご記入の上、当館までファックスまたは展覧会担当者宛(6 ページ記載)にメールでお申送ください。

外観画像①



外観画像②



● プレゼント用無料観覧券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効の無料観覧券を 6 枚までご提供させていただきます。(無料観覧券のご利用にはWEB予約が必要です。)

ご希望の方は画像使用申込書(プレゼント用無料観覧券申込付)に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記の展覧会担当者宛にメールでお申送ください。

本展に関する連絡先

公益財団法人 SGH 文化スポーツ振興財団 佐川美術館
 企画担当学芸員：馬場 まどか (ばば まどか)

m_baba004@sagawa-artmuseum.or.jp

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891
 TEL:077-585-7800/FAX:077-585-7810

画像使用申込書 (プレゼント用無料観覧券申込付)

佐川美術館 宛 FAX / 077-585-7810



申込日 2022 年 月 日

画像の露出・掲載等 ご使用にあたっての注意	● 申請された方法、目的以外には使用しないでください。 ● 掲載誌・紙は資料として 1部お送りくださいますよう、お願い致します。 ● 原稿は企画担当者まで必ずお送りください。確認に期日を要するため、お早めにお問い合わせをお願いします。
使用画像 ※ご希望の作品にチェックを入れてください。	☐ 画像 1.《座る女》 ☐ 画像 2.《パブロ・ピカソ》 ☐ 画像 3.《コップ、バスの瓶、新聞》 ☐ 画像 4.《槍》 ☐ 画像 5.《顔(マリー＝テレーズ)》 ☐ 画像 6.《大きな頭部》 ☐ 画像 7.《貧しい食事》 ☐ 画像 8.《夜、少女に導かれる盲目のミノタウロス》 上記画像申請に関しては、当館への連絡後に BCF への申請が別途必要です。 無料広報用画像ご希望の方↓ ☐ 佐川美術館外観画像①☐ 佐川美術館外観画像②
媒体名	
貴社名	
ご芳名(ご所属)	
ご連絡先	ご住所：(〒 -) メールアドレス TEL： FAX：
発行(掲出)予定日	年 月 日 号
使用形態(○印)	Web サイト / 印刷物 (カラー / モノクロ)
無料観覧券希望枚数	読者プレゼント用として、<u>無料観覧券</u> 枚 ※ 枚数は 6 枚以内でお願いいたします。ご了承ください。 無料観覧券のご利用には WEB 予約が必要です